

【報道関係各位】

ソトレシピ[®]総研

株式会社ソトレシピ
ソトレシピ総合研究所

キャンプブームは新たなステージへ！「キャンプ料理トレンド調査2020」
“映え離れ”するキャンプ飯。トレンドは“ジタンブ飯”へ。

注目のジャンルは“和食”

さらに、20代が進む“キャンプ飯のグローバル化”

“ソロキャン”の次は、“デュオキャン”と“ミックスキャンプ”がくる！？

キャンプ料理レシピサイト「ソトレシピ (<https://sotorecipe.com/>)」を運営する株式会社ソトレシピ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：千秋広太郎）は、この度キャンプ料理に特化した調査機関・ソトレシピ総研によって「キャンプ料理トレンド調査2020」を実施しました。その結果を以下に、発表いたします。

「キャンプ料理トレンド調査2020」

- ① “映え離れ”するキャンプ飯。トレンドは“ジタンブ飯”。ジタンブ飯はモテ飯！？
- ② 実は“和キャンプ飯”が人気！20代では“キャンプ飯のグローバル化”が加速。
- ③ “ソロキャン”の次は、“デュオキャン”が若年層を中心に人気上昇！？
- ④ 初心者にとってキャンプは「意外と忙しい」。キャンプ力向上のカギは“料理”
- ⑤ 「キャンプ×海」など、2020年は『キャンプ×○○』の“ミックスキャンプ”に注目

調査対象：全国の20～50代男女計400名（各世代男女50名）

2019年に2回以上キャンプに行った人を対象にインターネット調査で実施。

調査期間：2020年2月26日～3月1日

「ソトレシピ総研」とは

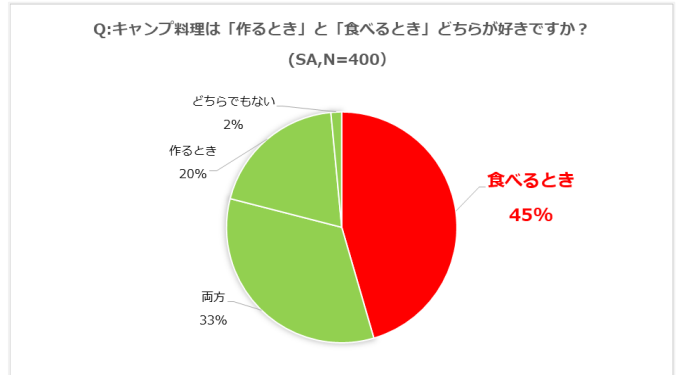
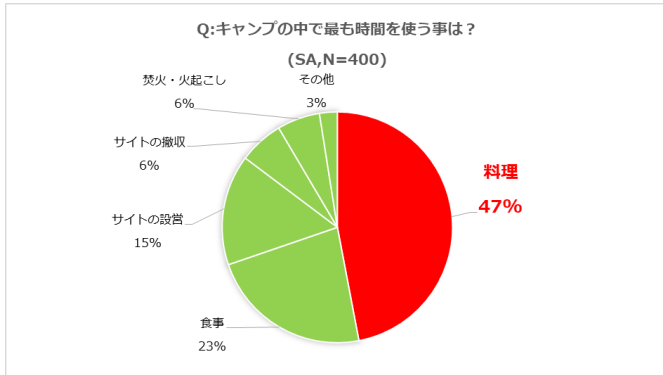
キャンプ料理レシピサイトである「ソトレシピ (<https://sotorecipe.com/>)」を運営する「ソトレシピ」のリサーチ部門です。今回の調査は2020年のアウトドア市場での食事トレンドを把握する目的で実施しました。今後も定期的に「キャンプ料理市場」に関するリサーチを行い、発表してまいります。

※調査結果を引用される場合は、必ず「ソトレシピ総研『キャンプ料理トレンド調査2020』」とご記載ください。また広告制作物等にご利用の場合はご相談ください。

① “映え離れ”するキャンプ飯。トレンドは“ジタンプ飯”。 ジタンプ飯はモチ飯！？

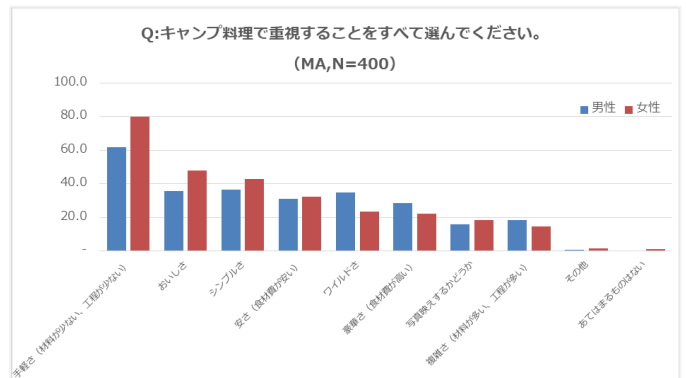
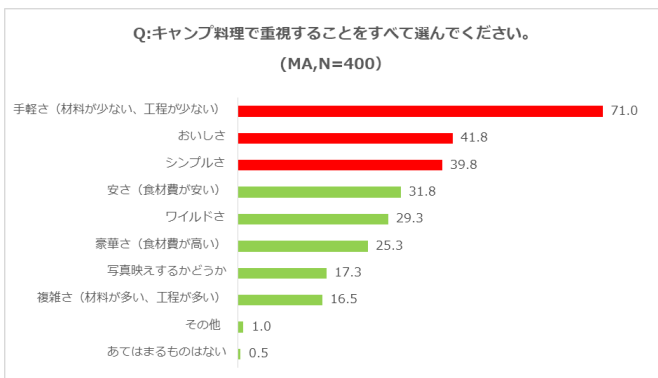
『キャンプの中で最も時間を使う事は？』という質問に対して、約50%のキャンプ経験者が「料理」と回答した。次いで約20%が「食事」と回答し、キャンプを楽しむ中で「料理」と「食事」の重要性が強調される結果となった。

また、『キャンプ料理は「作る時」と「食べる時」どちらが好きですか？』という質問に対して約46%が「食べる時」と回答しており、食べることそのものをより楽しみたいという傾向が明らかになった。このことから、キャンプにおける“料理・食事”を充実させることが、キャンプの時間をより豊かにする重要な要素であると考えられる。



『キャンプ料理で重視することをすべて選んでください。』という質問に対しては、約70%が「手軽さ（材料が少ない、工程が少ない）」と回答。加えて、約42%が「おいしさ」、さらに約40%が「シンプルさ」を重視すると回答した。一方で、昨今のキャンプブームをけん引したと思われる「写真映えするかどうか」といういわゆる“映え”要素への関心は約17%に留まった。このことから、直近のキャンプ料理におけるトレンドは“映え離れ”が進行しており、シンプルで手軽に調理できておいしい“時短飯”の要素をキャンプにも求める“ジタンプ飯”が人気の傾向であると明らかとなった。

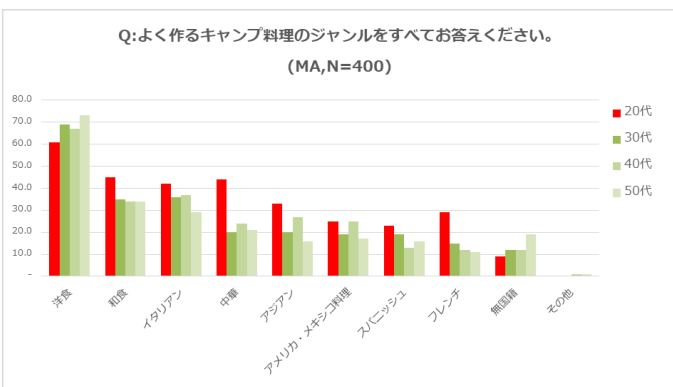
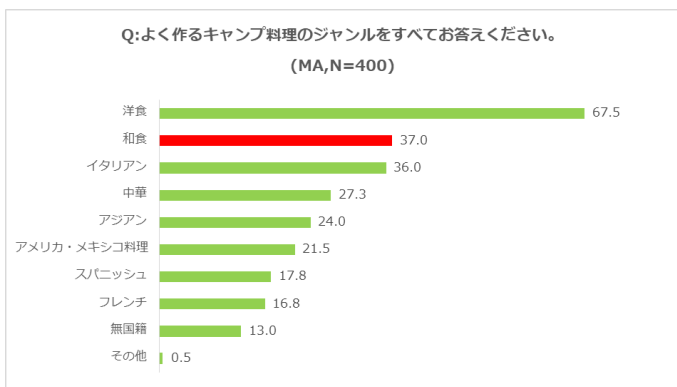
また、同様の質問を男女別で比較すると、男女間で異なる傾向が明らかになった。女性の方が“ジタンプ飯”をキャンプ飯に求める傾向が顕著にでており、「手軽さ（材料が少ない、工程が少ない）」「おいしさ」「シンプルさ」のすべての要素において男性を上回る結果となった。一方で、男性にも“ジタンプ飯”トレンドを反映した結果ではあるが、女性と比べて「ワイルドさ」「豪華さ（食材費が高い）」「複雑さ（材料が多い、工程が多い）」をより重視する傾向が強く、男女間におけるキャンプ料理における重要ポイントに違いがみられた。



② 実は“和キャンプ飯”が人気！20代では“キャンプ飯のグローバル化”が加速。

『よく作るキャンプ料理のジャンルをすべてお答えください。』という質問では1位「洋食」、2位「和食」、3位「イタリアン」という結果になった。キャンプといえばバーベキューなどの肉料理や「カレーライス」や「ハンバーグ」などのダッチオーブンやスキレットとの相性の良い洋風の料理をイメージしがちですが、意外にも2位は「和食」となった。『キャンプで作ったことがある和食メニューをお答えください』という質問に対しては、「肉じゃが」や「味噌汁」といった家庭でも定番の和食から、「すき焼き」や「うな井」といった特別感ある和食メニューまで幅広いメニューがキャンプ場で調理されていることが分かった。さらにユニークな回答としては「鴨」「猪」「鹿」などの日本ならではのジビエを使った料理も楽しまれていることが明らかとなった。

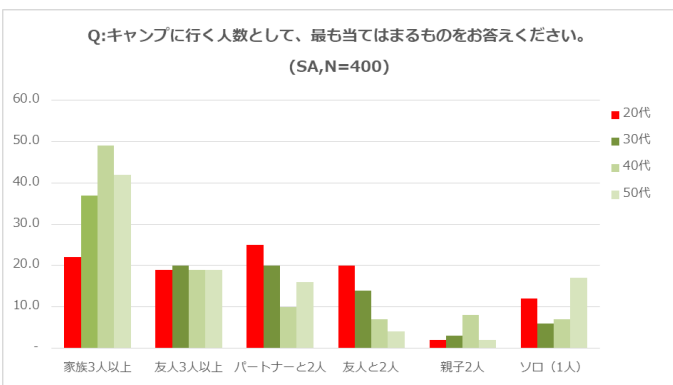
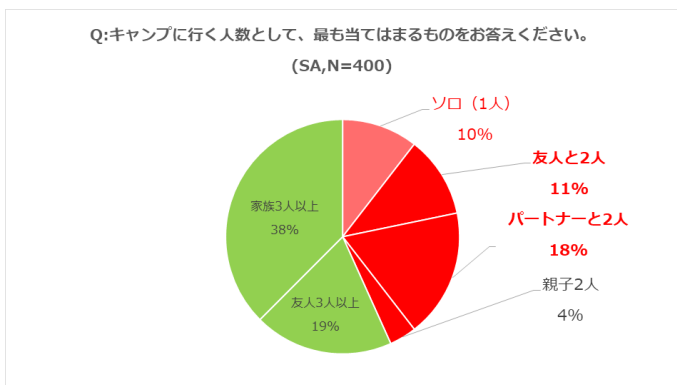
さらに、よく作るキャンプ料理に関する質問において、20代の回答に特徴的な傾向がみられた。よく作るキャンプ料理として「和食」と回答した割合は20代が最も多かった。また、20代では「中華」「フレンチ」「アジア」ジャンルの料理をよく作ると回答する割合がほかの世代に比べて特に高くなっており、若年キャンパーでは“キャンプ飯のグローバル化”現象が生じていることが明らかになった。



③ “ソロキャン”の次は、“デュオキャンプ”が若年層を中心に人気上昇！?

『キャンプに行く人数として、最も当てはまるものをお答えください。』という質問に対して、最多の回答は「家族3人以上」が37.5%となり、いわゆるファミリーキャンパーが最も多い結果となった。しかし、「ソロ」、「友人と2人」、「パートナーと2人」、「親子2人」などの1~2人でのキャンプを好む層を足し上げると、全体の約43%を占めることが明らかになり、実は半数近くが“デュオキャンパー”（32.8%）と“ソロキャンパー”（10.5%）であることが分かった。「友人3人以上」のいわゆる“グループキャンパー”は約19%であり、今回の調査においては、実は最も比率の多いファミリーキャンパーと同程度の“デュオキャンパー”が存在することが明らかになった。

さらに、年代別に比較するとソロキャンパーの割合が最も多いのは50代で17%だった。一方で、今回の調査において最も若い世代の20代キャンパーの47%がデュオキャンプをよく行うと回答した。年代が上がるごとに、ライフステージの変化に伴ってファミリーキャンパーの割合が高くなる傾向がある一方で、友人3人以上のグループキャンプの割合は年代差がほぼ無い結果となった。



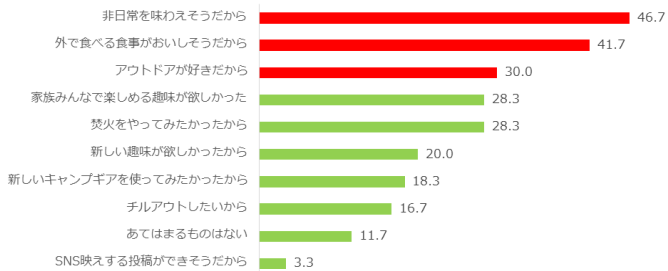
④ 初心者にとってキャンプは「意外と忙しい」。キャンプ力向上のカギは“料理”

2019年にキャンプを始めたキャンプ初心者に対して『キャンプに興味を持った理由を教えてください。』と質問をしたところ、最も多かったのが「非日常を味わえそうだから」(46.7%)、次いで「外で食べる食事がおいしそうだから」(41.7%)、「アウトドアが好きだから」(30%)と続いた。

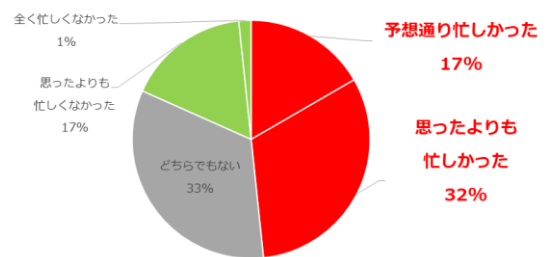
さらに、キャンプ初心者に対して『キャンプを体験した感想として当てはまるものをお答えください。』と質問をしたところ、約2人に1人が「予想通り忙しかった」「思ったよりも忙しかった」と回答し、キャンプを体験する前後における、キャンプのイメージへのギャップが明らかとなった。「アウトドアでおいしい料理を食べて非日常を味わいたい」という願いがありつつも、実は理想のキャンプを実現するための難しさを感じる人が多いと感じる回答者が多数存在することが明らかになった。

全回答者を対象に『さらにキャンプの時間を充実させるために最も高めたいスキルを教えてください。』という質問を行ったところ、半数以上となる約57%のキャンパーが「料理」と回答した。キャンプ歴別の調査においても、2019年にキャンプを始めた初心者キャンパーもキャンプ歴10年以上の玄人キャンパーも同様にもっとも回答の割合が高かったのは「料理」であり、キャンプ料理のスキルを高めることで充実したキャンプライフを過ごしたい、過ごすことができると考えているということが明らかになった。

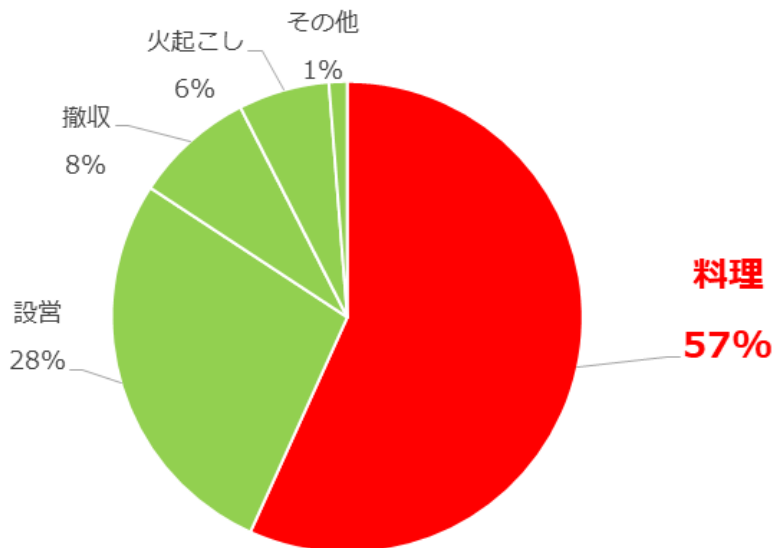
Q:キャンプに興味を持った理由を教えてください。
(SA,N=60※キャンプ歴1年未満の回答者のみ)



Q:キャンプを体験した感想として当てはまるものをお答えください。
(SA,N=60※キャンプ歴1年未満の回答者のみ)

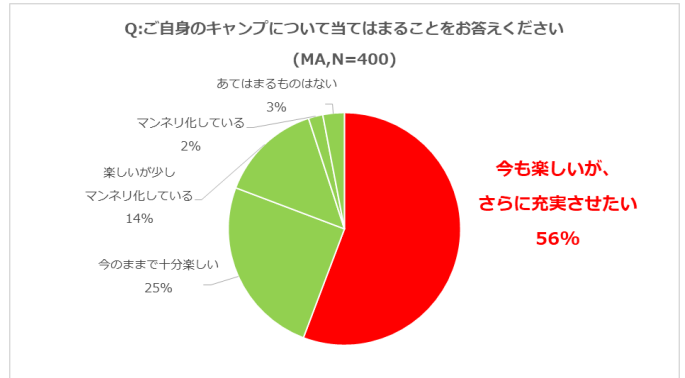


Q:さらにキャンプの時間を充実させるために、
最も高めたいスキルを教えてください。(SA,N=400)

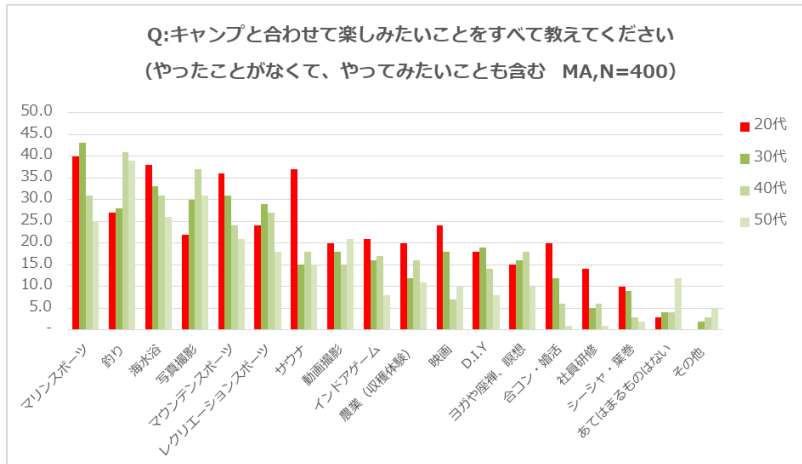
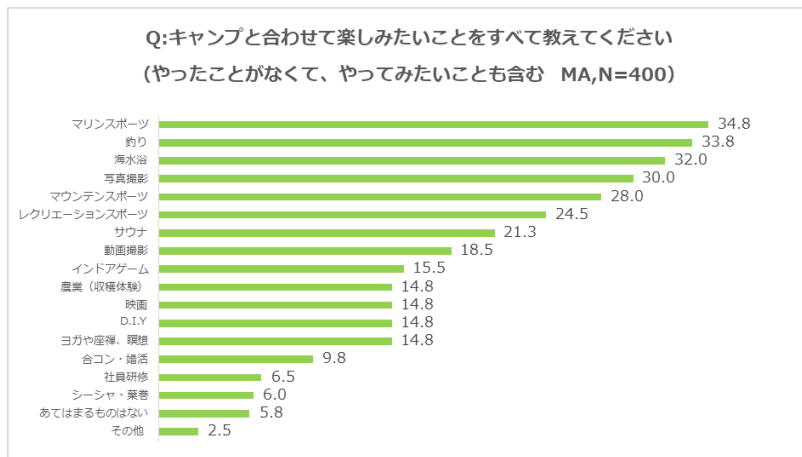


⑤ 「キャンプ×海」など、2020年はキャンプ×〇〇の“ミックスキャンプ”に注目

現在のキャンプに関する満足度を測る質問に対しては「今も楽しいがさらに充実させたい」という回答が55.8%で半数を超えた。世代別に比較すると、すべての世代において50%以上の回答者が同様の回答を行った。特に20代は唯一60%を超えた世代であり、最もキャンプ意欲が高い世代であるといえる。このことから、現在のキャンプ人口の半数以上が現状に満足するのではなく、さらにキャンプの時間を豊かにしたいという意欲に溢れるキャンパーであることが明らかになった。「今も今まで十分楽しい」という回答を加えると、キャンパーの80%以上がキャンプを楽しんでおり、キャンプブームがまだまだ衰えることなく盛り上がっている様子がうかがえる。



『キャンプと合わせて楽しみたいことをすべて教えてください（やったことがなくて、やってみたいことも含む）』という質問に対しては、1位「マリンスポーツ（サーフィン、SUP、カヤックなど）」（34.8%）、2位「釣り」（33.8%）、3位「海水浴」（32%）、4位「写真撮影」（30%）、5位「マウンテンスポーツ（マウンテンバイク、スキー、クライミングなど）」（28%）となった。世代別の比較においては、最もキャンプ意欲が旺盛な20代は「サウナ」への関心が高く、他の世代が10%台だったのに対して、37%の20代がキャンプとサウナを組み合わせて楽しみたいと回答した。また「インドアゲーム（ボードゲーム、カードゲームなど）」「農業（収穫体験）」「合コン・婚活」「映画」「社員研修」といった回答がほかの世代と比べて高い結果となった。特に20代においては、これまでキャンプとの連想がしにくかった体験やライフスタイルを自由な発想で“ミックス”をした新しいキャンプスタイルを楽しんだり、楽しもうとする傾向が強いことが明らかとなった。



今回の調査結果を受けて：所長のコメント

第四次キャンプブームの到来と言われてから久しく、キャンプがブームから文化へと定着しつつあることを裏付けるような結果が明らかになったといえそうです。

今回の調査結果からは、その進展を象徴するようなキャンプ料理トレンドとして、ファッション感覚ではなく実利を重視する“映え離れ”から“時短飯”への変化が明らかになりました。キャンプの豊かさはキャンプ料理・食の豊かさに結び付くといえる調査結果が出たように、今回の調査では料理・食という要素を充実させることで、本質的なキャンプ体験の全体の充実を期待するキャンパーの傾向が明らかになりました。また、デュオキャンプ人口が約半数を占める現状には、年に1~2回イベント的に大勢でキャンプを楽しむレクリエーション型から、キャンプ・アウトドアを趣味とするパートナーと充実した時間を過ごすための趣味としてキャンプを楽しむ層が増えたことが背景にあるといえそうです。

2020年春、新型コロナウイルスの影響で外出を控えざるを得ない状況が続いています。この事態が収束した際には、アウトドアは様々な不安やストレスから人々を解放し、再び多くの人を笑顔にできる体験だと思っています。一刻でも早く社会に日常が戻り、アウトドア初心者の方からベテランキャンパーまで、全ての人が豊かな自然体験を楽しめることを願います。



ソトレシピ総合研究所
所長 千秋 広太郎



<「ソトレシピ」とは？>

「ソトレシピ」は、『HAVE A DELICIOUS CAMP!』をテーマにアウトドアを愛するすべての方に、大自然の中で美味しい料理を楽しむきっかけを創りたいという想いで立ち上げた「キャンプ料理専門のレシピサイト」です。

URL : <https://sotorecipe.com/>